会　議　要　旨

会議の名称	令和７年度第１回川越市立美術館協議会
開催日時	令和７年　５月３０日（金） 午後２時００分　開会　・午後４時００分　閉会
開催場所	川越市立美術館会議室
議長（委員長・会長）氏名	宮澤光造　（会長）
出席者（委員）氏名（人数）	山田誠次　（副会長） 青柳達雄、吉岡知子、山﨑共子、横山敦子、西野　博、 岡部秀子、瀬下洋之　（委　員）　（８人）
欠席者（委員）氏名（人数）	なし
事務局職員職　氏　名	美術館　館長　　山田明子 副館長　折井貴恵 副主幹　濵田千里
会議次第	１　開　　会 ２　会長あいさつ ３　議　　事 ⑴　令和６年度事業報告 ⑵　美術館のあり方について（確認事項） ⑶　その他 ４　閉　　会
配布資料	１　令和７年度第１回川越市立美術館協議会次第 ２　川越市立美術館協議会委員名簿 ３　【資料１】川越市立美術館　令和６年度事業報告 ４　【資料２】川越市立美術館データ表 ５　【資料３】川越市立美術館特別展データ表（過去５年） ６　【資料４】特別展の年間回数アンケートについて ７　【資料５】美術館のあり方について（確認）

議　事　の　経　過

（1）　令和６年度事業報告

事務局より資料１～資料４について説明後、委員による詳細確認、質疑応答が行われた。主な意見は以下のとおり。

■美術館展示　について

・秋季特別展について。あまり美術館に来るほうではないが楽しめた。「美術」という枠にとらわれない、こういった特別展もたまにあると良い。
・夏季に比べ秋季特別展の観覧者数が多かった理由の分析は。
[事務局]県民の日及び市民の日の２日間、無料観覧日があったためではないか。
・秋季特別展で販売したグッズの成果はどうであったか。
[事務局]川越唐桟のオリジナルグッズを制作販売したが、会期中に完売した。

■教育普及　■作品管理　■刊行物　について

・年報・紀要をホームページ上で公開している館もあり、今後できるとよい。
・教育普及事業の参加費の幅の理由は。その件で参加者の反応は。
[事務局]小学生対象講座は、当初から１００円で、というコンセプトで始めたもの。一方で、作家主体の講座については、実費換算するとこれくらいはする。参加費が高額の講座は、参加者数が少なめ傾向にはなる。
・講座に参加しているこどもからの意見として、制作後の感想を言いたい、振り返りをしたい、とのこと。また、こどもの意見や作品写真などをホームページに載せられないか。
[事務局]ワークショップ２時間の枠のなかで制作がスムーズにいかない回もあり、感想発表や講評までできない時もあるが、意見は参考にしたい。作品スナップを撮れた際はXにあげることもある。
[事務局]ジュニアアートスクエアは高倍率で、機会を増やしたいが、マンパワーの関係でできかねている。

■美術館施設利用　■美術館運営管理　について

・アンケートに寄せられた、トイレ内注意書きの外国語表記についてはぜひやるべき。
・パパ・ママ応援カードによる割引利用者数増加について、紙カードから電子（LINEとの連動）になったことも大きいのではないか。
・市民ギャラリーの抽選方法について。４月の抽選会は参加団体数がかなり多かった。そうなると、事前に第二希望までとる今の形ではなく、第一希望だけで、かぶったところは一律抽選する形のほうがスムーズではないか。

議　事　の　経　過
[事務局]次回 10 月の抽選会に向けて検討する。また、申込団体数が増えているため、川越市民優先とする考えも検討したい。 ・市民優先の考えに関して。近隣市町の利用者にも、1.5 倍料金を課してもよいのではないか。 ■特別展の年間回数アンケートについて ・特別展が年間２回になっているが、会期を長くすることはできないか。特別展開催の有無で市民ギャラリー観覧者数も変わる。 [事務局]作品や借用先の判断などあり、検討を要する。 ・アンケート回答者の多様性を感じる。多くの要望に応えるためにも特別展回数は増やすべき。 （２） 美術館のあり方について（確認事項） 館の改修や作品取得などの局面で常に「館のあり方」を問われるため、館が考えている「あり方」＝資料５「建設時に定めた基本理念及び美術館建設委員会最終答申」、との見識でよろしいか、協議会に確認した。 協議会の結論は、「川越市立美術館のあり方」としては、館建設時に定めた「基本構想」が現在も生きており、その内容も当時から変更なしとする美術館の考えと同様であることを確認した。 なお、特に改修に関し、委員から早期に進めるよう意見等が出された。主なものは以下のとおり。 ・LED 化、設備改修は必須であり、早く進めた方がランニングコスト対策にもなる。 ・機械・設備類は 20 年もたない。予算的に難しいならリースを取り入れるなど、工夫により早期対応が必要。 ・空調と LED、一緒にやったほうがコストは下がる。 ・夏場の気温上昇がこれまでと違っている。市の資産を守るために空調改修を早く進めるべき。 ・展示により川越らしさを発信するためにも、作品保護のための設備が必要。 ・展示室の 24 時間空調がいまやスタンダードだと言えないのか。 ・観光客の避難所として優先度を高めてはどうか。 ・「空調設備が壊れたらこんな事態になる」ことを強く主張・説明するべき。実際、全館空調が止まったら誰が責任をとるのか。 ・「あり方」について、具体的に「5 年計画」「10 年計画」などを求められているのではないか。 ・市も収入を重視される時代だ。

議　事　の　経　過
・美術館はそもそも経済活動から切り離すべきでは。 （3） その他 事務局より、不確実な段階ではあるが、使用料の値上げを検討していることを報告した。

令和７年度　第１回川越市立美術館協議会次第

日　時　令和７年５月３０日（金）
　　午後２時００分～
場　所　川越市立美術館会議室

１　開　　会

２　会長あいさつ

３　議　　事

⑴　令和６年度事業報告

⑵　美術館のあり方について（確認事項）

⑶　その他

４　閉　　会

※閉会後、学芸員による常設展展示解説を行います。
　ぜひご参加ください。

川越市立美術館協議会委員名簿

任期：令和６年４月１日～令和８年３月３１日

区　分		氏 名	性別	推薦団体・役職	備考	
関係団体	社会教育関係	青柳　達雄	男	川越美術協会・会長	３期 (R2-)	
		吉岡　知子	女	埼玉県立近代美術館・主任学芸員	２期 (R4-)	
		山﨑　共子	女	川越商工会議所・常議員	３期 (R2-)	
	学校教育関係	横山　敦子	女	川越市校長会・会員 （川越市立寺尾小学校校長）	１期 (R6-)	
		西野　博	男	埼玉県高等学校長協会 川越ブロック高等学校長協会・代表 （埼玉県立川越女子高等学校校長）	２期 (R4-)	
	学識経験者	山田　誠次	男	川越市障害者団体連絡協議会・会長	５期 (H28-)	○
		宮澤　光造	男	尚美学園大学 芸術情報学部情報表現学科・教育専任教授	８期 (H21-)	◎
公募		岡部　秀子	女	公募	１期 (R6-)	
		瀬下　洋之	男	公募	１期 (R6-)	

敬称略

◎会長　○副会長

資料１

川越市立美術館　令和６年度事業報告

＊資料中は敬称略

■美術館展示　特別展　＊2 本実施

みて！！　さわって！？　かわごえのびじゅつ

所蔵作品のデジタルデータを活用した体験型のコンテンツを設け、当館の所蔵作品の魅力や、美術に関する知識を親しみやすい形で紹介した。展覧会ワークシートを小中学校の夏休みの宿題として提供するなど、教育普及方面での新たな試みも行った。

会　期：令和 6 年 7 月 13 日（土）～9 月 8 日（日）（開館日数 50 日）
主　催：川越市
助　成：一般財団法人自治総合センター
後　援：朝日新聞さいたま総局、埼玉新聞社、産経新聞さいたま総局、時事通信社さいたま支局、東京新聞さいたま支局、日本経済新聞社さいたま支局、毎日新聞埼玉西支局、読売新聞さいたま支局、NHK さいたま放送局、J：COM 東上・川越、テレ玉、FM NACK5
観覧料：一般 600 円（480 円）、大学生・高校生 300 円（240 円）、中学生以下無料
＊（　）内は 20 人以上の団体料金
＊身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳、障害者手帳アプリ「ミライロ ID」をご提示の方、及び付き添いの方 1 人は無料
＊「川越きものの日」にちなみ、8 日、18 日、28 日に着物、浴衣で来館された方の観覧料二割引
※「パパ・ママ応援ショップ優待カード」のご提示で、家族全員の観覧料二割引
観覧者数：4,292 人（約 86 人／日）

広　告：Instagram、Facebook に広告配信
（1）7 月 24 日～28 日（5 日間）　（2）8 月 8 日～12 日（5 日間）

関連事業：**●こども開会式**
日時：7 月 13 日（土）　午前 10 時～10 時 30 分
人数：58 人（応募制によるこども招待者と同伴者 50 人、そのほか関係者 8 人）

●夏休みのアトリエ　～リサイクル材料で作ろう～
講師：美術館職員・Kart サポートスタッフ
日 時：7 月 31 日（水）～8 月 3 日（土）
(1)午前 10 時 30 分～正午　(2)午後 1 時 30 分～3 時（計 8 回）
参加費：100 円（材料費）
対象・人数：小学生以上・62 人（8 回合計）

●アーティストワークショップ「天然木でカラフルな魚の彫刻を作ろう」
講師：櫻井かえで（彫刻家）
日時：8 月 4 日（日）　午前 9 時 30 分～午後 0 時 30 分
参加費：1,000 円

対象・人数：小中学生・16 人（定員 16 人）

●アーティストワークショップ「塗って並べて比べてみよう―キラキラ日本画絵の具体験―」

講師：小林大悟（美術作家）

日時：8 月 10 日（土） (1)午前 10 時～11 時　(2)午後 1 時～3 時

参加費：(1)700 円　(2)1,100 円

対象・人数：(1) 5 歳～小学校 2 年生・9 人（定員 10 人）

(2) 小学校 3 年生以上・16 人（定員 16 人）

●アーティストワークショップ「シルクスクリーンでトートバッグを作ろう」

講師：西平幸太（版画家）

日時：8 月 17 日（土） 午前 10 時～午後 2 時（休憩 1 時間）

参加費：2,000 円

対象・人数：小中学生・10 人（定員 10 人）

●アーティストワークショップ「絵の具と触って考える―えのぐとさわってかんがえる」

講師：高橋大輔（画家）

日時：10 月 12 日（土） 午前 9 時 30 分～正午

※7 月 20 日（土）に予定していたが、都合により上記日程に振り替え、当初申し込み者を対象に参加者を再募集して実施。

参加費：3,000 円

対象・人数：小中学生・10 人（定員 10 人）

●教員・職員鑑賞会

日時：7 月 12 日（金） 午後 6 時 30 分～7 時 30 分

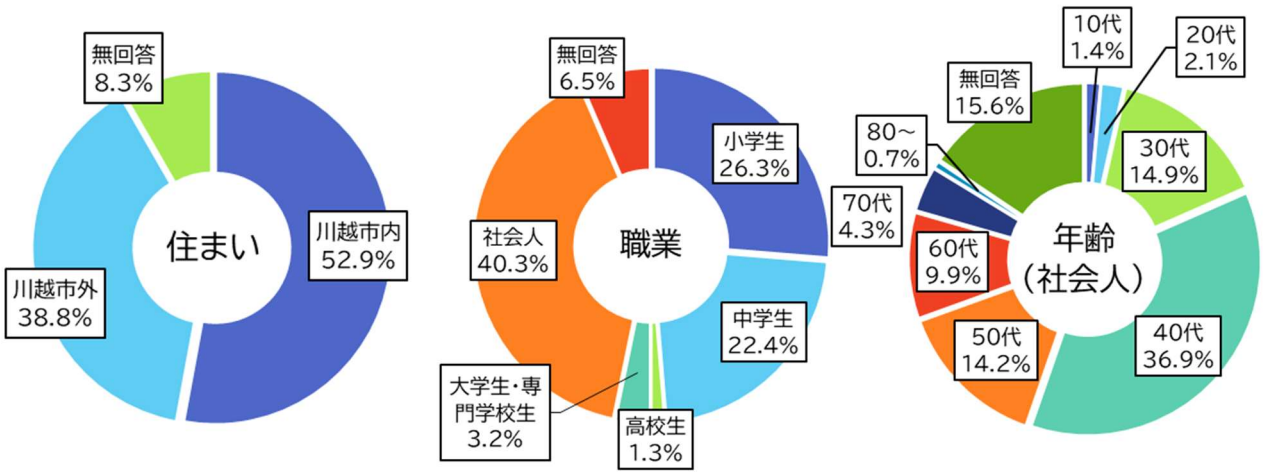
人数：12 人（うち教員・保育士 3 人）

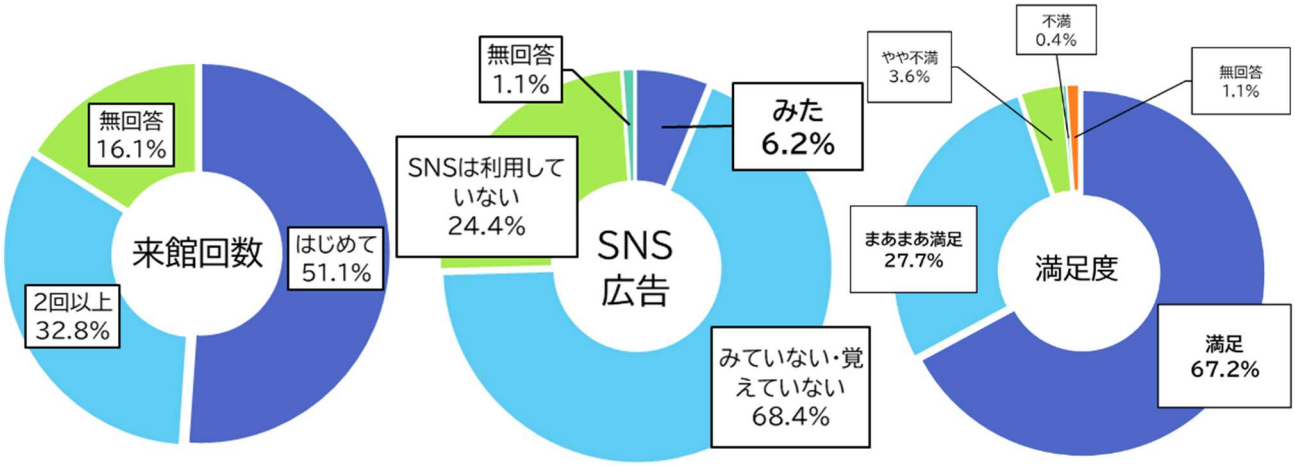
学校連携：**●ワークシートの夏季休暇中宿題利用**

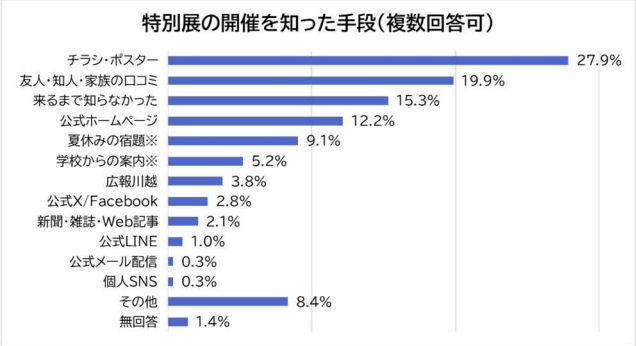
5 校(川越市立寺尾小学校、川越市立大東東小学校、川越市立山田小学校、川越市立川越第一中学校、川越市立富士見中学校)

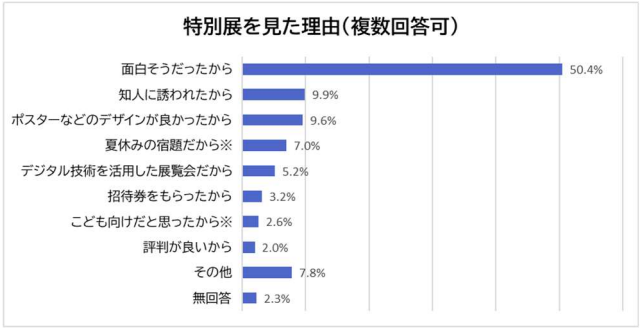
アンケート：回収数：275（回答率 6.4%）　紙回答 275（100%）／電子回答 0（0%）

※電子回答ゼロは、展示プランの関係でアンケート席を会場内に設けていた影響と考えられる









主な感想

・実際に絵に触るなど、体感することでただ見るよりも子どもたちの記憶に残ったように思います。なにより楽しめて良かったです。

・ワークシート等、展示を楽しむ為の工夫が非常に興味深かった。作品を触るという体験は今までにしたことがなく新鮮だった。

・独自の工夫された展示で、とてもよかったです。テーマも興味深かったです。川越ゆかりの作家のすばらしい作品に会えて大変よかったです。

・美術に全くうといので、絵画や彫刻などの基本から知れたのが楽しかったです。スタンプコーナーが、思いのほか面白かったです。

・撮影 NG なので、子どもがワークブックに書きこんでいる姿や作品を見ている姿が撮れなくてモヤモヤした。もっとさわったり体験できる作品があるとよかった。

担当の所見

・企画段階ではデジタルコンテンツが来館者の注目を集めると思われたが、アンケートの好意的な感想は「ワークシート」「制作コーナー(スタンプ)」に集中するという、意外な結果となった。デジタルネイティブ世代にとって、今回のコンテンツはどこでも当たり前に享受できる種類の体験であり、目新しく感じられなかったのではないかと推測する。

・多くの来館者にとってワークシートが有用だったことが窺えた。こどもたちに集中を促すだけでなく、会話しながら楽しく鑑賞するきっかけにもなったようである。

江戸のお洒落装身具（アイテム）―袋物、髪飾り、そして江戸風俗の世界―

令和 2 年度に企画され、新型コロナウイルスの流行により中止となった特別展の再企画。江戸風俗研究家・平野英夫氏の其角堂コレクションから、江戸時代に発達した袋物や髪飾りなどの装身具をはじめとする江戸風俗資料約 250 点を紹介。其角堂コレクションが大公開される初の展覧会となった。

会　期：令和 6 年 10 月 26 日（土）～12 月 8 日（日）（開館日数 38 日）
主　催：川越市
観覧料：一般 700 円（560 円）、大学生・高校生 350 円（280 円）、中学生以下無料
＊（　）内は 20 人以上の団体料金
＊身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳、障害者手帳アプリ「ミライロ ID」をご提示の方、及び付き添いの方 1 人は無料
＊着物で来館された方は 2 割引
＊11 月 14 日〔県民の日〕、12 月 1 日〔市民の日〕は無料観覧日
観覧者数：6,309 人（約 162 人／日）　※内覧日を含む

広　告：Instagram、Facebook に広告配信
（1）10 月 26 日～31 日（5 日間）　（2）11 月 20 日～24 日（5 日間）

関連事業：**●内覧会（関係者のみ）**
日時：10 月 25 日（金）　午後 2 時～4 時
人数：72 人

●インタビュー「其角堂さんに聞く、江戸のお洒落アイテムの魅力」
話し手：平野英夫（江戸風俗研究家）
日時：11 月 2 日（土）　午後 2 時～3 時 30 分
人数：65 人（定員：60 人）

●ワークショップ「クイズに答えて布の缶バッジを作ろう」
日時：(1)11 月 14 日（木）午前 10 時～11 時 30 分／午後 1 時 30 分～3 時（受付時間）
(2)12 月 1 日（日）午前 10 時～11 時 30 分／午後 1 時 30 分～3 時（受付時間）
参加費：200 円（材料費）
人数：(1)39 人　(2)41 人

●ミニ鑑賞会「作品１点を間近でじっくり見てみよう」
日時・作品：(1)11 月 16 日（土）午前 11 時～（30 分間）・《籐石畳編鏡入れ》
(2)11 月 16 日（土）午後 2 時～（30 分間）・《ガラス絵化粧箱》
人数：(1)12 人　(2)11 人

●学芸員による展示解説
日時：(1)11 月 10 日（日）　午後 2 時～
(2)11 月 24 日（日）　午後 2 時～（手話通訳付き）
(3)12 月 4 日（水）　午前 11 時～
人数：(1)17 人　(2)24 人　(3)27 人

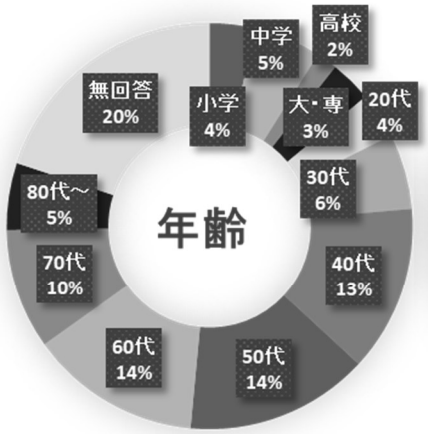
●教員・職員鑑賞会
日時：10 月 25 日（金）　午後 6 時 30 分～7 時 30 分

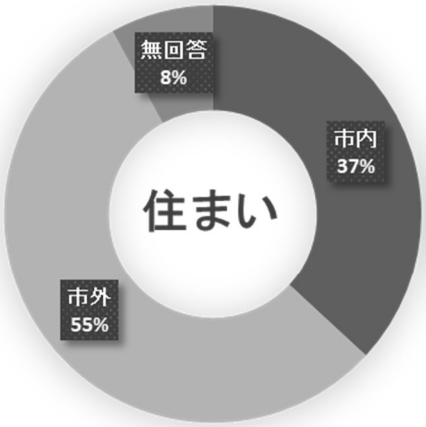
人数：13 人（うち教員 5 人）

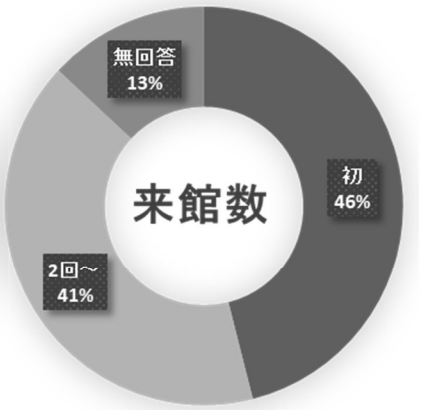
グッズ販売：川越唐桟巾着（小）35 個　　川越唐桟巾着（大）28 個
　　川越唐桟スマホショルダー　6 個　　川越唐桟あずま袋　6 個

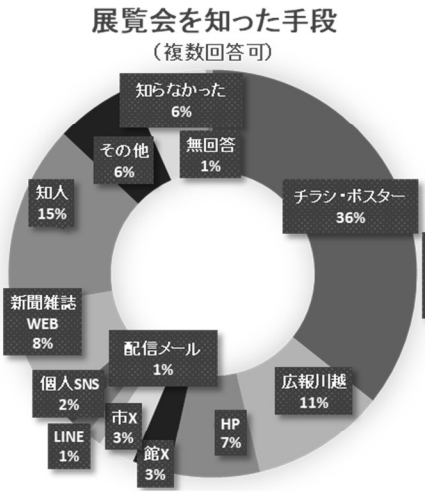
そ の 他：ポスター等広報印刷物、看板にデザイナー起用

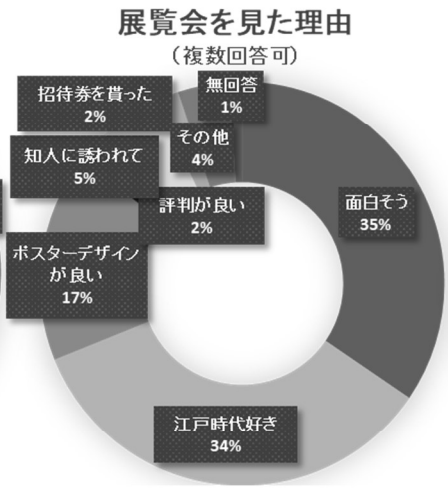
アンケート：回収数：304（回答率 4.8%）　紙回答 290（95.3%）／電子回答 14（4.6%）

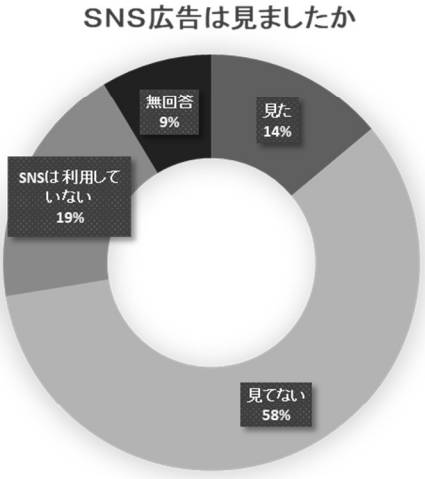


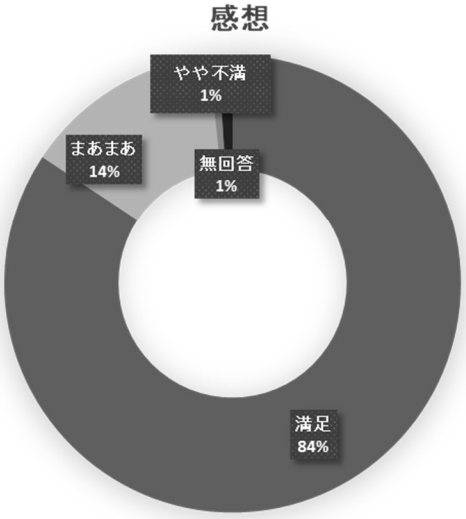












主な感想

・江戸時代の、クオリティの高い小物類を沢山見られたのが良かった
・執念の収集品に感動しました
・浮世絵と合わせての展示がとても分りやすく、これから浮世絵を観るときの楽しみが増えてとても嬉しい
・使い方の動画が、長さも適切で、わかりやすかった
・チラシがとてもかわいい！　内容もステキでした

担当の所見

・展示物を展開して見せる動画がとても好評だった。
・いつもと客層が違った。
・チラシデザインの広告効果を感じた。

■美術館展示　常設展（常設展示室 ＋ 相原求一朗記念室）

第 1 期　小特集：中林忠良 ＋ 相原求一朗の画業 I

令和 6 年 3 月 27 日（水）～6 月 23 日（日）

令和 5 年に銅版画家・中林忠良（1937 生）が文化功労者に選ばれたことを記念して小特集を組んだ。そのほか建畠覚造、齋藤研、関根伸夫の合計 4 人の作品を展示した。

第 2 期　特集：ハロー！ かわごえのびじゅつ ＋ 相原求一朗の画業Ⅱ

令和 6 年 7 月 2 日（火）～9 月 16 日（月祝）

特別展「みて！！ さわって！？ かわごえのびじゅつ」に関連して、川越ゆかりの作家を中心に、当館のコレクションを幅広く展示した。

第 3 期　小特集:中村一美 ＋ 相原求一朗の画業Ⅲ

令和 6 年 9 月 19 日（木）～12 月 15 日（日）

令和 5 年度に収蔵された中村一美作品のお披露目特集。展示室の一角に、前期は大沢昌助作品、後期は特別展「江戸のお洒落装身具」に関連し装身具の描かれた《双筆五十三次》を展示した。

第 4 期　杉浦非水と小村雪岱 ＋ 相原求一朗の画業Ⅳ

令和 6 年 12 月 19 日（木）～令和 7 年 3 月 23 日（日）

令和 5 年度末に寄贈された小村雪岱作品・資料の初披露と、同年に寄託された杉浦非水資料の公開を兼ね、共通点の多い両者の二人展とした。

■美術館展示　タッチアートコーナー

第 1 期　コレクションを見てみよう

令和 6 年 3 月 27 日（水）～6 月 23 日（日）

第 2 期　岡田敏幸 木製仕掛宝物展

令和 6 年 7 月 2 日（火）～9 月 16 日（月・祝）

第 3 期　吉田有紀展　おもちゃカラー

令和 6 年 9 月 19 日（木）～12 月 15 日（日）

第 4 期　吉村貴子展―間（あわい）

令和 6 年 12 月 19 日（木）～令和 7 年 3 月 23 日（日）

●ふれてドキドキ・磨いてワクワク ― 作品に触れる鑑賞会とガラス・石磨き体験

内容：タッチアートコーナーの吉村貴子展を鑑賞し、石、ガラスを磨く。

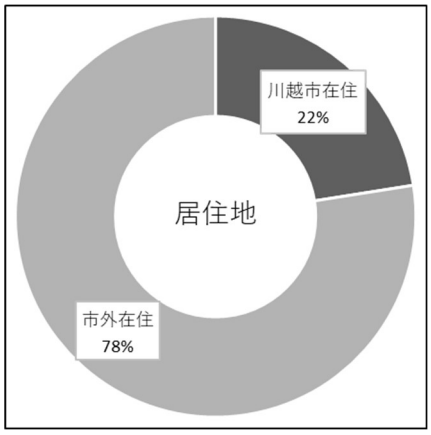
講師：吉村貴子（彫刻家・出品作家）、広瀬浩二郎（国立民族学博物館教授）

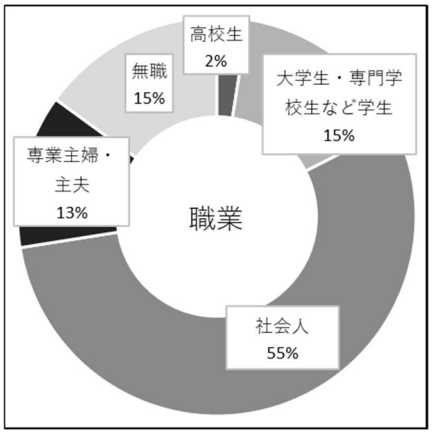
日時：1 月 18 日（土）(1)午前 9 時 30 分～11 時 30 分　(2)午後 1 時～3 時
(3)午後 1 時 40 分～3 時 40 分

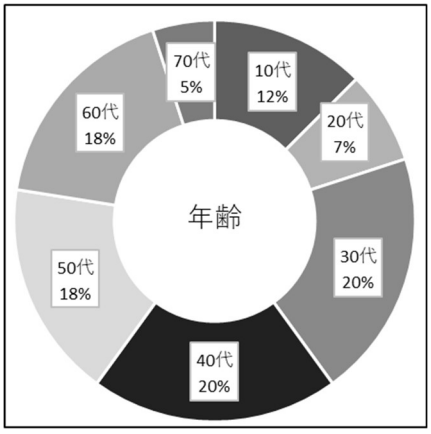
参加費：200 円（材料費）

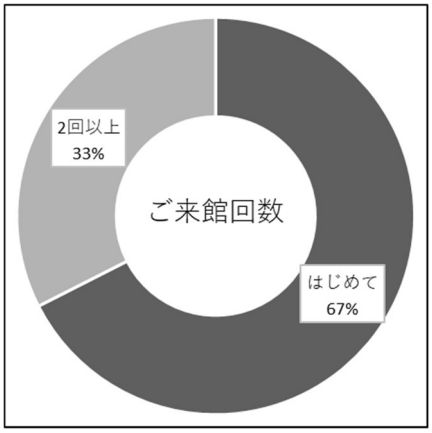
対象・人数：中学生以上・27 人（定員 30 人）

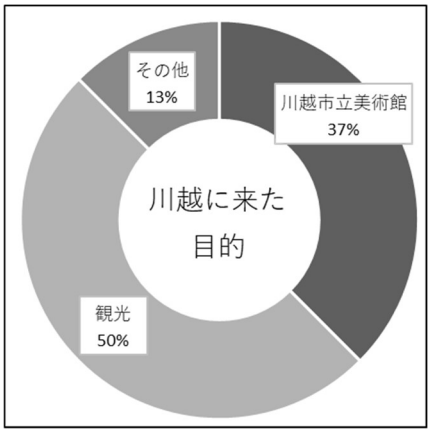
常設展アンケート　回答数：40

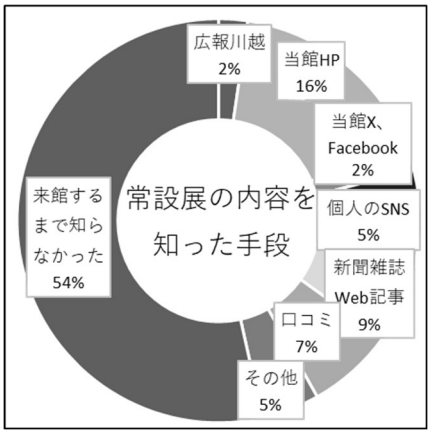












感想(自由回答) ※抜粋

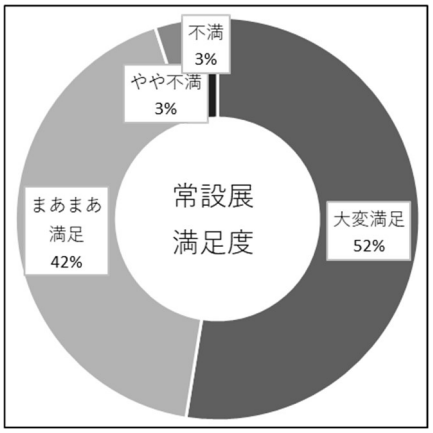
・美術館が好きで、よく行きます。群馬県立館林美術館、高崎タワー美術館が好きです。川越美術館は近いから来ますが、地味で見応えが無く、残念です。川越市は観光客向け商業イベントは力を入れているようですが、文化施設はあまり関心がないのでしょうか。トイレの注意事項が日本語のみ。観光客を呼ぶなら、英語や中国語表記も必要では？ 不満ばかり並べたようで、申し訳ありません。応援しています。【春】

・展示方法も作品もとても素敵でした。職員の方の応対も丁寧でした。【春】

・いつ行っても同じような作品。アクリル盤や監視が強めで1分のタイマーをかけられてじっくり鑑賞できない。つまらない。もっとゆっくりじっくりみれたらと思う。はじめてのアートを楽しもう。などもっと市民に優しい美術鑑賞できる場所だとよい。【春】

・近隣学生の感性を磨く場として機能していることにいたく感心。素晴らしい取り組みですね。館内でのきめ細かい案内と配慮もありがたかく、流石川越の美術館だと思いました。【秋】

・川越にゆかりのある画家さんの作品だったのですが、川越の風景とかお祭りに関連するものはなかったのが少し残念でした。【秋】



・特別展が派手だったせいもあり、暗くて地味な絵の感じがした。春はもっと明るい絵のほうがいいと思う。【秋】

・展示の数が少なかったので、２階も展示があったらよかった。【秋】

・主に相原求一朗さんの絵を見に伺っています。静かな展示室でゆっくり落ち着いて見られて満足しています。今回は触れず残念でしたがタッチアートも楽しみにしています。【秋】

・安すぎて、気楽についでに入り、お値段以上に楽しめました。また行きたいと思います。【冬】

・相原さんの取材フィルム、大変興味深く拝見してしまました。ありがとうございました。【冬】

・杉浦非水さんの作品がとても魅力的に感じました。100 年近く前の作品を見ても、古さを感じさせないのが驚きでした。【冬】

・新しく収蔵されたばかりで仕方ないですが、展示作品のポストカードが欲しかったです。【冬】

・また小村雪岱展を開催してください。【冬】

■教育普及　講座・ワークショップ等

●ジュニアアートスクエア／アートスクエア（小学生対象／小学生から大人まで対象）

第4土曜日に開催するワークショップ（原則：定員20人・抽選）。

月	日	タイトル	内容・備考	費用	人数（応募）
4	27	えのぐであそぼう	水彩絵の具によるデカルコマニーで、偶然できる模様を楽しむ。 ＊2回実施	100円	40 (84)
5	25	いろいろな白と黒で描こう	常設展鑑賞後、木炭や擦筆を用いて白と黒だけの絵を描く。	100円	19 (38)
6	22	牛乳パックで版画をつくろう	牛乳パックにニードルで描画して、凹版画をつくる。 講師：一条美由紀（美術家）	100円	16 (30)
7	27	木に色をつけてブローチにしよう *アートスクエア	魚や鳥形の板片に好きな色を塗ってオリジナルブローチにする。 講師：岡田敏幸（木工作家）　＊実施時間内自由参加	300円	37
8	24	土で絵の具を作ろう	身近な場所の土で絵の具を作って、画用紙に描く。	100円	20 (25)
9	28	新聞紙ねんどで遊ぼう	新聞紙にでんぷんのりを混ぜた粘土を作って、自由に造形する。 対象：5歳～小学校3年生	100円	12 (16)
10	26	布張りのカード入れを作ろう *アートスクエア	牛乳パックを台紙にして、布を張り、カード入れにする。 *2回実施	100円	21 (25)
11	23	川越唐桟の糸掛け曼荼羅を作ろう ＊アートスクエア	川越唐桟の余り糸で、糸掛け曼荼羅を作る。 協力：川越唐桟手織りの会 ＊2回実施	100円	41 (67)
12	21	クリスマス＆お正月カードを作ろう	スチレンボードのハンコや、紙を貼ったり絵を描いたりして、クリスマスカードや年賀状を作る。	100円	15 (24)
1	25	非水＆雪岱デザインでプラバンストラップを作ろう	常設展の展示作品を参考に、プラバンストラップを作る。	100円	10 (18)
2	22	水墨画にチャレンジ！	指頭画、筋目描きなど、東洋の絵画に用いられてきた水墨画の技法に挑戦する。	100円	20 (29)
3	22	春のリサイクルアトリエ ～自由に作ってみよう～ ＊アートスクエア	余り素材などを使って、自由に作品を作る。 対象：5歳～　定員：12人（2回実施）	100円	24 (31)
合　　計					275

●金沢健一　自由になるための規則と偶然

川越にアトリエを構える彫刻家・金沢健一（1956-　）の作品を軸に、展示・ワークショップ・パフォーマンスを通して体験的な作品鑑賞の在り方を提示する。

主催：金沢健一

共催：川越市立美術館

会期：　3月4日（火）～23日（日）

観覧者数：1,333人

関連事業（講師は全て金沢健一）

事業名	日時	内容・対象	費用	人数
ワークショップ 「振動という出来事」	3月15日（土） 午後1時～4時	鉄板に振動を与え、「クラドニ図形」を出現させる体験をする。 小学4年生以上・定員10人	2,000円	5人
ワークショップ「抽象の方法論―自由になるための規則と偶然」	3月16日（日） 午後1時～4時	紙や針金などを規則に則って変形させる造形体験。 小学4年生以上・定員10人	1,000円	4人
ワークショップ「マリオネットと遊ぶ―ひとがたによる感情表現と人間の在り様」	3月20日（木・祝） 午後1時～3時30分	金沢健一作のマリオネットを操り、組み合わせて人間の感情や在り様を表現する。小学4年生以上・定員10人	無料	6人
トーク＆デモンストレーション	3月9日（日） 午後2時～3時	展示作品の解説とデモンストレーション。	無料	24人
	3月23日（日） 午後2時～3時		無料	34人

●初心者のための実技講座「クラフトテープによるメディウム剥がし摺り」

講師：南舘麻美子（版画家）

日時：2 月 8 日（土）　午前 10 時～午後 4 時

参加費：1,800 円（材料費）

対象・人数：中学生以上・6 人（定員 8 人）

●常設展鑑賞プログラム「集まって、え・み～る」（各期 2 回実施）

第 1 期	5 月 11 日 ㈯	13 人	6 月 16 日 ㈰	3 人
第 2 期	8 月 11 日 ㈰	9 人	9 月 7 日 ㈯	15 人
第 3 期	10 月 27 日 ㈰	7 人	12 月 7 日 ㈯	13 人
第 4 期	1 月 5 日 ㈯	16 人	2 月 22 日 ㈰	13 人

6

●「相原求一朗北海道の旅 62.1.9-14」上映（常設展第 4 期関連）

期間：12 月 24 日～2 月 9 日、3 月 2 日～19 日、21 日～23 日（55 日間）

視聴者：1,202 人

●ワークショップ「ミニ灯篭を作ろう」（博物館共催事業）

午前中は博物館で灯篭制作、午後は美術館で絵を描き、最後に灯りをともして鑑賞する。

日時：8 月 8 日（木）午後 1 時 30 分～3 時 30 分　※落雷による停電の影響で博物館で実施

参加費：400 円（材料費・博物館で徴収）

対象・人数：小中学生・18 人（定員 20 人）

●事業協力

ふるさと塾 2024 年度第 2 回講座（文化芸術振興課・川越シニア大学「小江戸塾」）	7 月 24 日 ㈬ 講義「川越の芸術家」	34 人
第 20 回川越市少年の翼事業（こども育成課）	7 月 31 日（水） 相原求一朗記念室の展示解説（博物館実習生による）	47 人
「ゆう遊学級」（北公民館）	11 月 6 日（水） 講義「特別展「江戸のお洒落装身具」について」	55 人
令和 6 年度オータン市訪問団受入事業（国際文化交流課）	11 月 22 日（金） 特別展「江戸のお洒落装身具」解説、自由見学	5 人
令和 6 年度中札内村中学生川越市訪問交流事業（国際文化交流課）	1 月 9 日（木） 相原求一朗記念室の展示解説、館内自由見学	13 人

■教育普及　学校連携事業

令和 6 年度　教育課程に位置づけたバス利用による博物館・美術館活用（市立小学 6 年生バス見学）	6 月～10 月（18 日間）・常設展示室、相原求一朗記念室の鑑賞授業 主催：川越市教育委員会	32 校
博物館実習	7 月 30 日 ㈫、31 日 ㈬、8 月 2 日 ㈮、7 日 ㈬、9 日 ㈮、13 日 ㈫（6 日間）	4 人
川越市立小学校・中学校初任者研修会	8 月 20 日 ㈫ 主催：川越市立教育センター	72 人
川越市立中学校美術部展	8 月 21 日 ㈬ ～ 25 日 ㈰・市民ギャラリー 市立中学校 22 校参加・出品数 437 点	1,238 人
ミュージアム×スクール	10 月 11 日 ㈭・霞ケ関南小学校　2 年生 派遣作家：吉田有紀（美術家）	31 人
	1 月 28 日 ㈫・埼玉県立特別支援学校塙保己一学園 中学部／高等部普通科 派遣作家：吉村貴子（彫刻家）	43 人
尚美学園大学学芸員課程「博物館情報メディア論」見学プログラム	12 月 8 日 ㈰	5 人
埼玉県立川越高等学校、埼玉県立川越女子高等学校、埼玉県立川越工業高等学校、川越市立川越高等学校 4 校美術部展	1 月 11 日 ㈯～13 日 ㈪㊗・市民ギャラリー 主催：4 校美術部展実行委員会 共催：川越市立美術館	388 人
尚美学園大学卒業制作展	2 月 13 日 ㈭～16 日 ㈰・企画展示室、アートホール 主催：尚美学園大学芸術情報学部情報表現学科	1,724 人
川越市立小・中学校児童生徒 県特選受賞作品展	2 月 21 日 ㈮～24 日 ㈪㊡・アートホール 小学校 32 校・中学校 22 校参加・出品数 171 点	794 人
川越市中学生社会体験事業の受け入れ	各校 2 日間 （砂中学校、芳野中学校、大東中学校、城南中学校）	8 人
埼玉アートカードの貸出		8 校 10 件
「ハロー！ミュージアム」配布	年度当初に市内小学校全児童に配布。持参して 4 季来館した児童にパーフェクト賞授与。	8 人

■教育普及　Kart サポートスタッフ

登録者数：45 人
活動回数：123 単位
活動内容：ジュニアアートスクエア等の補助、資料発送の補助、講座・講演会・内覧会等の受付、
　　中学校美術部展・特選展・金沢健一展の看視、創作室資材等整理　など

■教育普及　その他

・川越市立美術館公式ＨＰ
・川越市立美術館公式Ｘ（旧 twitter）・Facebook の発信
・メール配信サービス／川越市公式 LINE

■作品管理

●作品取得

寄贈 1 件（1 点）
寄託 2 件（2 点）
※このほか購入 1 件（1 点）について審議（取得は令和 7 年度予定）

●美術品外資料取得

2 件（2 点）

●作品修復

山本日子士良《にしんとポット》1957 年

●作品貸し出し

なし

■刊行物

●刊行物

（1） 展覧会図録『江戸のお洒落装身具―袋物、髪飾り、そして江戸風俗の世界―」
（2） 『川越市立美術館令和 5 年度年報・研究紀要』
（3） 令和 7 年度展示案内
（4） 2025 川越市立美術館　ハロー！ミュージアム

■美術館施設利用

◆市民ギャラリー

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
利用可能日数	297 日	300 日	300 日	298 日	163 日
利用日数	267 日	279 日	275 日	198 日	138 日
利用率	89.89%	93.00%	91.67%	66.44%	60.26%
利用者数	24,512 人	24,536 人	23,933 人	18,219 人	9,071 人

◆創作室

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
利用可能コマ数	869 コマ	880 コマ	900 コマ	785 コマ	687 コマ
利用コマ数	295 コマ	269 コマ	276 コマ	247 コマ	171 コマ
利用率	33.9%	30.57%	30.67%	31.46%	24.89%
利用者数	1,795 人	1,591 人	1,602 人	1,463 人	995 人

＊令和 6 年度は LED 化工事により 22 コマ貸し出し禁止とした

■美術館運営管理

◆審議会等

川越市立美術館協議会（美術館の運営について審議）

→　2 回開催（5 月 24 日㈮、3 月 14 日㈮）

川越市立美術館美術品等選考評価委員会（作品の収蔵の可否について審議）

→　1 回開催（11 月 29 日㈮）

川越市立美術館利用研究委員会（美術館と学校利用について審議）

→　3 回開催（7 月 3 日㈭、11 月 22 日㈮、2 月 20 日㈭）

◆維持管理等

工事　創作棟 LED 化工事

修繕　高圧ケーブル・高圧気中負荷開閉器取替修繕

多目的トイレ自動ドア修繕（3 箇所）

免震装置塗装修繕

＋

温水チラー圧縮機他部品交換修繕、中央監視装置部品交換修繕

太陽光発電設備インバーター盤放熱ファン取替修繕

多目的トイレ修繕

川　越　市　立　美　術　館　デ　ー　タ　表

資料２

【R6.3.31現在】

年・月	総利用者数	観覧者（人）								観覧以外の利用者（人）								外国人	備考
		観覧者合計	常設展	特別展	有料	無料	有料率	日数	人/日	ギャラリー	日数	創作室	件数	ホール	日数	その他	日数		
平成14年度	29,528	27,418	14,104	13,314	11,163	16,255	41	93	295	1,271	18	147	11	692	14	0	0		
平成15年度	95,531	63,274	38,669	24,605	23,534	39,740	37	285	222	22,242	150	1,009	72	9,006	60	0	0		
平成16年度	79,342	50,853	32,653	18,200	20,241	30,612	40	290	175	22,041	205	1,756	130	4,692	66	0	0		
平成17年度	82,177	50,893	31,131	19,762	19,968	30,925	39	291	175	25,035	212	2,471	203	3,778	32	0	0		
平成18年度	95,769	53,704	34,457	19,247	21,378	32,326	40	284	189	27,090	212	2,144	199	7,985	47	4,846	48		
平成19年度	104,563	69,508	43,887	25,621	27,961	41,547	40	298	233	26,033	217	2,466	221	1,987	45	4,569	54		
平成20年度	127,793	84,357	48,875	35,482	29,934	54,423	35	297	284	35,782	263	2,530	210	5,124	88	0	0		
平成21年度	113,008	69,067	42,333	26,734	26,246	42,821	38	295	234	32,181	231	2,360	219	9,400	61	0	0		
平成22年度	87,087	56,876	35,323	21,553	21,676	35,200	38	298	191	25,022	225	2,554	262	2,635	59	0	0		
平成23年度	96,046	64,154	36,044	28,110	21,893	42,261	34	300	214	24,881	194	3,107	258	3,904	86	0	0		
平成24年度	112,243	67,700	38,135	29,565	20,419	47,281	30	297	228	31,319	240	4,176	261	9,048	85	0	0		
平成25年度	103,848	63,399	36,693	26,706	21,754	41,645	34	295	215	29,178	235	3,586	278	5,809	76	1,876	29		
平成26年度	108,375	67,652	38,934	28,718	24,593	43,059	36	297	228	27,280	227	3,299	290	10,144	103	0	0		
平成27年度	97,104	56,922	33,269	23,653	20,266	36,656	36	298	191	30,885	243	2,386	240	6,911	89	0	0		
平成28年度	116,170	69,736	41,917	27,819	25,831	43,905	37	296	236	33,598	263	2,982	272	9,854	167	0	0	878	外国人平均3.0人
平成29年度	119,852	70,903	41,431	29,472	28,312	42,591	40	297	239	37,010	269	3,885	278	8,054	121	0	0	1,224	外国人平均4.1人
平成30年度	135,626	87,989	50,219	37,770	33,973	54,016	39	299	294	37,471	279	3,971	342	6,195	122	0	0	1,563	外国人平均5.2人
令和元年度	100,320	58,545	35,349	23,196	23,393	35,152	40	274	214	31,459	252	3,610	360	6,706	112	0	0	1,326	外国人平均4.8人
令和 2年度	21,313	9,133	9,133	0	6,032	3,101	66	163	56	9,071	138	995	171	0	0	2,114	24	295	外国人平均1.8人
令和 3年度	71,133	40,989	28,915	12,074	17,276	23,713	42	298	138	18,219	198	1,463	247	8,101	45	2,361	30	381	外国人平均1.3人
令和 4年度	63,948	34,856	26,594	8,262	14,818	20,038	43	300	116	23,933	275	1,602	276	2,382	68	1,175	18	789	外国人平均2.6人
令和 5年　4月	3,814	1,427	1,427	0	1,210	217	85	26	55	2,199	22	145	29	43	11	0	0	117	
令和 5年　5月	4,221	2,049	2,049	0	1,540	509	75	27	76	2,011	23	132	21	29	2	0	0	129	
令和 5年　6月	4,347	2,500	2,500	0	722	1,778	29	20	125	1,699	20	104	17	44	3	0	0	111	
令和 5年　7月	6,116	4,209	2,740	1,469	2,111	2,098	50	26	162	1,491	26	157	23	259	9	0	0	167	
令和 5年　8月	10,011	7,821	4,582	3,239	3,887	3,934	50	27	290	1,870	27	163	22	157	5	0	0	197	
令和 5年　9月	6,023	4,113	3,356	757	1,840	2,273	45	25	165	1,764	23	116	31	30	20	0	0	150	
令和 5年　10月	5,584	2,798	2,331	467	1,315	1,483	47	26	108	2,505	25	118	20	163	11	0	0	122	
令和 5年　11月	8,092	5,590	3,315	2,275	1,389	4,201	25	26	215	2,120	23	150	24	232	7	0	0	120	
令和 5年　12月	5,132	3,135	1,791	1,344	641	2,494	20	22	143	1,737	21	113	20	147	4	0	0	97	
令和 6年　1月	2,558	926	926	0	687	239	74	24	39	1,489	21	143	20	0	0	0	0	73	
令和 6年　2月	5,950	1,399	1,399	0	781	618	56	25	56	2,868	22	103	15	1,580	15	0	0	102	*ハローミュージアム：年間28人
令和 6年　3月	5,253	1,245	1,245	0	936	309	75	26	48	2,783	26	147	27	19	22	1,059	18	135	*着物の日：年間12人
令和 5年度	67,101	37,212	27,661	9,551	17,059	20,153	46	300	124	24,536	279	1,591	269	2,703	109	1,059	18	1,520	外国人平均5.1人
令和6年　4月	3,713	1,365	1,365	0	1,072	293	79	25	55	2,107	19	163	25	78	9	0	0	114	
令和6年　5月	4,270	1,970	1,970	0	1,498	472	76	27	73	2,098	27	140	19	62	4	0	0	213	
令和6年　6月	3,747	2,104	2,104	0	1,003	1,101	48	20	105	1,516	20	127	18	0	5	0	0	147	
令和6年　7月	4,819	3,514	2,360	1,154	1,381	2,133	39	26	135	989	25	122	24	194	6	0	0	197	
令和6年　8月	9,029	6,033	3,450	2,583	2,308	3,725	38	27	223	2,283	27	236	30	477	27	0	0	188	
令和6年　9月	4,986	3,647	3,092	555	1,472	2,175	40	24	152	1,087	24	135	31	117	24	0	0	217	
令和6年　10月	8,219	3,654	3,175	479	1,428	2,226	39	27	135	4,296	25	165	24	104	14	0	0	165	
令和6年　11月	10,595	8,507	4,633	3,874	2,686	5,821	32	26	327	1,765	23	171	25	152	4	0	0	164	
令和6年　12月	8,735	4,849	2,893	1,956	1,216	3,633	25	22	220	3,041	19	107	20	738	12	0	0	134	
令和7年　1月	3,717	1,777	1,777	0	1,300	477	73	24	74	1,233	24	151	19	556	24	0	0	136	
令和7年　2月	7,134	1,805	1,805	0	1,384	421	77	24	75	2,099	21	141	37	1,365	24	1,724	11	161	*パパママカード：年間　880人
令和7年　3月	5,435	1,604	1,604	0	1,277	327	80	25	64	1,998	25	137	23	363	21	1,333	18	155	*着物の日：年間　156人
令和6年度	74,399	40,829	30,228	10,601	18,025	22,804	44	297	137	24,512	279	1,795	295	4,206	174	3,057	29	1,991	外国人平均6.7人
開館以降累計	2,102,276	1,295,969	795,954	500,015	495,745	800,224	38	6,442	201	600,049	5,104	55,885	5,364	129,316	1,829	21,057	250	9,967	

資料３

川越市立美術館特別展データ表　（過去５年）

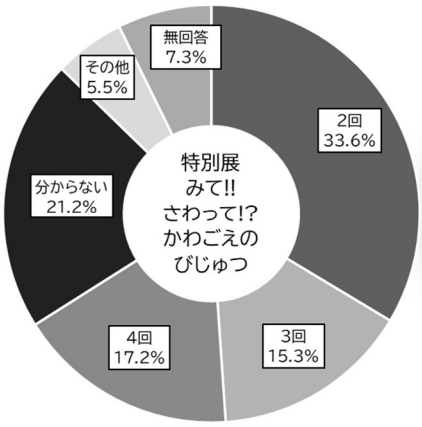
開催年度	展 覧 会	会　　期	日数	観覧者						
				区分別			合計	1日平均	有料観覧者	有料率
				一般	学生	小中学生				
令和２年度	開催無し		0 日	人	人	人	人	人	人	%
	小計		0 日	人	人	人	人	人	人	%
令和３年度	花村えい子と漫画	2021. 8. 7～ 9.12	32 日	4,008 人	211 人	731 人	4,950 人	155 人	3,145 人	64 %
	没後70年　吉田博展	2021.10.23～11.28	32 日	5,328 人	296 人	1,500 人	7,124 人	223 人	3,475 人	49 %
	小計		64 日	9,336 人	507 人	2,231 人	12,074 人	189 人	6,620 人	55 %
令和４年度	相原求一朗展アンコール	2022.7.16～9.4	44 日	2,546 人	143 人	357 人	3,046 人	69 人	1,812 人	59 %
	小茂田青樹展	2022.10.22～12.4	39 日	4,270 人	176 人	770 人	5,216 人	134 人	1,415 人	27 %
	小計		83 日	6,816 人	319 人	1,127 人	8,262 人	100 人	3,227 人	39 %
令和５年度	杉浦非水の大切なもの 初公開・知られざる戦争疎開資料	2023.7.8～9.3	51 日	4,646 人	207 人	612 人	5,465 人	107 人	3,557 人	65 %
	中村一美展	2023.10.21～12.10	44 日	3,124 人	185 人	777 人	4,086 人	93 人	952 人	23 %
	小計		95 日	7,770 人	392 人	1,389 人	9,551 人	101 人	4,509 人	47 %
令和６年度	みて!!さわって!? かわごえのびじゅつ	2024. 7.13～ 9. 8	50 日	2,385 人	179 人	1,728 人	4,292 人	86 人	1,531 人	36 %
	江戸のお洒落装身具	2024.10.26～12. 8	39 日	5,360 人	109 人	840 人	6,309 人	162 人	2,229 人	35 %
	小計		89 日	7,745 人	288 人	2,568 人	10,601 人	119 人	3,760 人	35 %
	最近５年合計		331 日	31,667 人	1,506 人	7,315 人	40,488 人	122 人	18,116 人	45 %
	開館以来合計		3,429 日	372,893 人	13,930 人	113,192 人	500,015 人	146 人	229,794 人	46 %
		開館以来 構成比		74.6%	2.8%	22.6%	100.0%			

※本表では、招待・優待・免除を一般の観覧者として数えています。

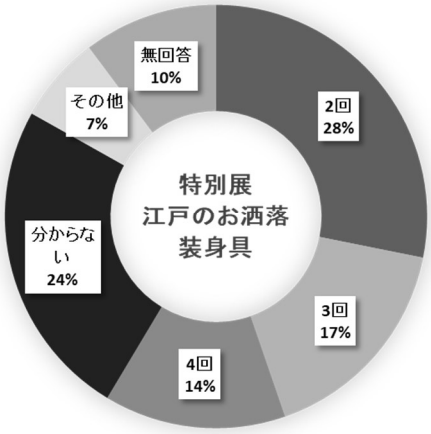
資料４

特別展の年間回数アンケートについて

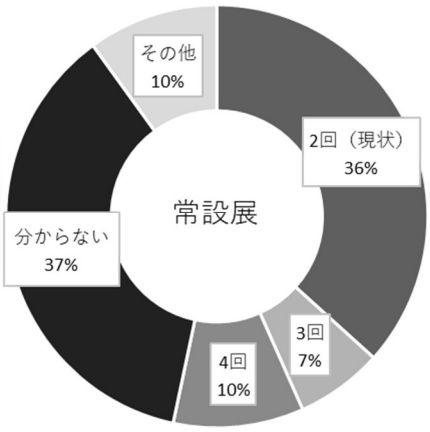
設問「特別展は年に何回が良いですか」



【その他内訳】
5回×3
10 回×2
12 回
100 回×2
365回
7000 回
月に1回～2回くらい
楽しかったのでたくさんやってほしい
出来るだけ多く。
みなさんの希望が叶うまで！！
ずっと



【その他内訳】
季節ごと　×3
年 4～5 回。ただ準備が大変でしょう
17 回
できるかぎりたくさん　×4
何回でも　×2
今回のような内容を年 1 回くらい
今回のような展示なら 3 回でも 4 回でも
回数というより今展のような独自の切り口の展示
量より質
多いと嬉しいが丁寧な展示の方が嬉しい
期間が長いとうれしい



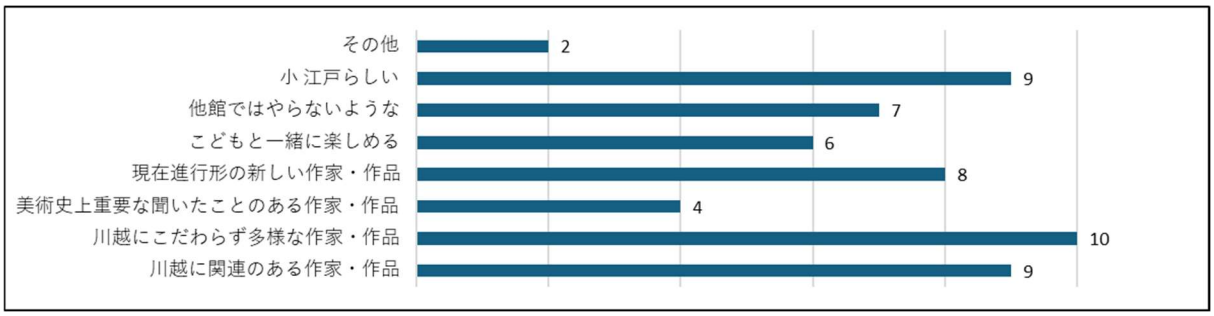
（6 月 24 日～2 月 9 日）

【その他内訳】
6 回　×2
何回でも

【所見】・２回（現状）が最も多い。しかし自由回答欄では回数より内容を重視する意見も多い。
・特別展アンケート回答者は展示内容に惹かれて来た方が多く、同様の展示を望む声が高まる。一方、常設展アンケート回答者は特別展を見ていない方も多く、特別展のことを問われてもピンと来なかったかもしれない。

設問の変更：<u>特別展については、どのようなものを希望しますか」</u>（選択制・複数回答可）

※2 月 14 日～5 月 6 日、サンプル数 24（ただし無回答あり）



【所見】・回答にあまり偏りがなく、多様なテーマの展示が求められている。
・さまざまな来館者の期待に応えるには、頻度は増やした方が良い

資料５

川教社発第　７５３号
平成４年１０月１４日

川越市美術館基本構想検討委員会
会長　大久保　竹　治　　様

川　越　市　長
川　合　善

次の事項について、別紙理由書を添えて諮問します。

「芸術文化の創造ならびに生涯学習施設の一環としての美術館の基本理念は如何にあるべきか。」

理　由

今日、科学技術の進歩、高齢化、情報化などの社会背景や、物より心の豊かさを追求する時代の潮流とあいまって、個人の主体的、自発的な意思に基づく生涯学習がさまざまな形で実践されている。

このため、市民の学習活動を支援する目的で、本市においてもすでに生涯学習の一翼を担う施設として公民館、図書館、博物館等の社会教育施設、コミュニティー活動を援助するブロックセンター等の施設の設置をみている。しかしながら、芸術文化面での施設や活動を見るに、市民の芸術文化に対する活動は創作活動や展示活動などにその高まりを見せ、民間のギャラリー等の開設が増えてはいるものの、公的施設として教育的援助や発表展示に対応しうる芸術文化の拠点施設については、必ずしも応えきれていない現状にある。

全ての市民が自らの学習を通して、人間の感性を磨き、情操を高めるために、行政として芸術文化に対する教育普及活動などを通して援助していくことが必要である。

そこで、川越市としては、その中心となる専門施設の設置が急務と考え、市制施行７０周年記念事業の一環として、新たな地域文化の創造と市民の芸術文化活動を支援する中心施設としての、美術館建設を推進することとした。

ついては、これらの目的実現に向け、これからの芸術文化や生涯学習の中心施設としての美術館のあり方について、市民各位の英知を結集し、長期的展望に立っての基本的理念の確立が必要であると考える。

検 討 す べ き 事 項

1.基本理念（目的･性格）をどこに求めるべきか。

2.目的･理念の実現のためには美術館の所要規模はどうあるべきか。

3.名称その他美術館関連諸事項

平成６年２月２４日

川越市長　舟　橋　功　一　様

川越市美術館基本構想検討委員会
会長　大　久　保　竹　治

答　申　書

本委員会は、川越市長より平成４年１０月１４日付で美術館基本構想について諮問を受け、１年半にわたり７回の委員会を開催し、川越にふさわしい美術館のありかたについて慎重に審議をかさねてまいりました。ここに別紙のとおり答申いたします。

つきましては、広い将来的展望のもとに所要の行財政的措置を講じ、この答申に盛られた諸提言を実現されるよう切望いたします。

川越市美術館基本構想

1　基本理念

川越の文化の中核として、市民がいつでも自由に利用し、鑑賞、創作、発表を通じて積極的に美術に親しむことができる開かれた美術館として、その立地条件を生かすとともに、市民の憩いの場として、また、美と情報と創造を得る美術館として次の性格をもたせる。

（1）川越にふさわしい文化的、地域的特性のある美術館

（2）美術を親しみやすく鑑賞できる美術館

（3）生涯学習の場として市民が積極的に参加できる美術館

（4）美術情報センターとしての役割を担い、新時代にふさわしい美術館

（5）内外にわたる美術、文化の交流の場として広く対応できる美術館

2　機　能

公立美術館として、市民に芸術文化の啓発、普及、育成を図るため次の機能をもたせる。

（1）資料の収集

ア　範囲　　川越ゆかりの作家の作品のほか、芸術上、学術上著しく価値の高い美術品で本市文化の振興に資するものを計画的、系統的に収集する。

イ　対象　（ア）郷土出身作家並びに郷土にゆかりのある作家及びその関連作家の美術品

（イ）近代美術、現代美術の流れを理解するための優れた内外の美術品

（ウ）江戸から明治にかけての日本の洋画黎明期の重要な洋画

（エ）江戸から明治・大正期の優れた日本画

（オ）その他美術に関する資料

ウ　方法　　購入、寄贈、寄託による

（2）調査研究

美術品等に関する次の調査、研究を総合的に行う。

ア　美術品等の収集、保存、展示に関する調査研究

イ　美術に関する調査研究

ウ　館蔵美術品に関する調査研究

エ　教育普及活動に関する調査研究

オ　その他

（3）展示

ア　常設展示　　郷土にゆかりのある作品をはじめ収集美術品等を展示する。

イ　企画展示　　優れた美術作品による特色ある企画展示や他機関との共催による展示を行う。また、国内の美術館との交流はもちろん、海外の美術館との交流も深める。

ウ　市民ギャラリー　美術団体等が主催する展覧会に施設を提供するとともに市民が開く個展や同好会、研究会などのグループ展による展覧会を任意に開催することのできる空間を確保し、広く創作発表の場として提供する。

（4）教育普及

市民が参加する生涯学習の場としての美術館を目指し、美術に関する教養講座、実技講座、講演会、映画会等を開催し市民の幅広いニーズに応えるとともに次の創作活動の場や文化活動の機会を積極的に提供する。

ア　アトリエの設置

イ　ワークショップ活動の実施

ウ　ボランティア制度の導入

エ　他館との美術情報システムの導入

オ　ビデオ情報システム及びハイビジョン映像システムの導入

カ　学校教育との連携の強化

キ　その他

3　所要規模等

（1）立　地　　文化、観光ゾーン内で周囲の環境と調和がとれ、文化施設としてふさわしい場所、又は駅周辺等の交通の便の良い場所、その他設置するにふさわしい環境の良い場所が望ましい。

（2）規模・構造　建物は造形的に美的なもので周囲の環境にあったデザインとし、外部空間には緑地、彫刻などを配置し魅力に満ちた施設とする。

また、幅広い活動を実施するためにそれに見合う広さを確保するとともに機能的に配置する必要がある。

なお、身体障害者や高齢者の利用について、充分配慮した施設とする。

（3）施設

次の区分により各施設を設ける。

ア　展示部門　　常設展示室、企画展示室、市民ギャラリー

イ　教育・普及部門

講座室、講堂、図書室、アトリエ、視聴覚ライブラリー

ハイビジョンギャラリー

ウ　サービス部門　　ホール、ロビー、ミュージアムショップ、休憩コーナー

喫茶室、駐車場

エ　研究部門　　研究室、文献資料室、スタジオ

オ　保存部門　　収蔵庫、修復室、燻蒸室、荷解室、搬入・搬出室

カ　管理部門　　館長室、応接室、事務・学芸員室、会議室、印刷室、物品倉庫、警備・用務員室、機械室、休養室、多目的利用可能な予備スペース

4　組　織

学芸員は、早期に優秀な人材を確保し、調査研究体制を充実させる。

また、美術館は常に広い視野に立ち、将来性と魅力あるユニークな運営を図るために専門性を配慮した充分な組織及び職員体制を整える。

5　名　称

広く市民の意見を求め決定する。

付　帯　事　項

1　建設用地は、諸般の事情を考慮して早急に決定されたい。

2　美術館の建設に要する費用については、構想の主旨を生かせるよう、充分な財政的配慮をされたい。

3　美術館の重要な要素である展示資料の充実を早急にはかられたい。

4　美術館建設委員会を置き、建設準備の万全を期されたい。

川美発第２２１号
平成10年11月18日

川越市美術館建設委員会
会長　木　下　重　美　　様

川越市長　舟　橋　功

美術館建設について（諮問）

さきに川越市美術館基本構想検討委員会より答申を受けた基本構想の内容をふまえ、平成１４年度（市制施行８０周年）の開館を目指し、当市の美術館建設をより具体的に推進するため、次の事項について貴委員会に諮問します。

諮　問　事　項

1　初雁公園周辺地区などで周囲の環境と調和が取れ、文化施設としてふさわしい、建設規模 2,000㎡程度が可能な建設地について。

2　市民がいつでも利用でき、鑑賞、創作、発表を通じて積極的に美術に親しめる美術館となるための、収集・展示・普及等の施設計画について。

3　施設を生涯学習等に有効に活用するための活動の展望について。

川美建委発第　1号
平成１２年４月５日

川越市長　舟　橋　功　一　様

川越市美術館建設委員会
会長　本　下　重　美

川越市美術館建設について（中間答申）

平成10年11月18日付け川美発第２２１号で諮問のあった件については、下記の事項について結論を得たので下記のとおり答申します。

記

1　美術館コンセプトについては、以下のとおりとします。

市民に開かれた芸術交流の場として
質の高い、多様な美術文化に触れる機会を設け
創作活動や発表活動を通して
川越ならではの情報を発信する
いきいきとした美術館

2　建設地については、川越市立博物館駐車場、本丸御殿隣接地（テニスコート跡地及び公園管理事務所敷地の一部）を候補地としますので、今後美術館の建設地として、適地を慎重に決定されることを要望します。

美術館の建設地について、平成11年２月12日より６回にわたり審議を重ねてまいりました。諮問のとおり初雁公園周辺地区等のなかで、立地条件の確認を含め、川越市立博物館駐車場、初雁公園内テニスコート跡地、武道館及び旧農業センター跡地等の具体的な候補地をあげ、現況が空地状態にある公有地に絞って、様々な観点から比較検討を加えてきました。美術館の候補地として川越市立博物館駐車場及び本丸御殿隣接地（テニスコート跡地及び公園管理事務所敷地の一部）を選定しましたが、このことは、平成14年度に美術館を開館するという大きな前提条件の中で、建設委員会の苦渋の選択の結果であります。

なお、川越市にふさわしい、市民の誇れる美術館となるよう、委員会で提起された意見を以下のとおり付記します。

①　既存の市立博物館、本丸御殿と隣合うので、景観についての調和を図る。
②　将来の城址公園構想に配慮するとともに、美術館の外部空間をできる限り確保し、美術館にふさわしい環境整備を行うこと。

川美収
第　10　号
★　12. 4. -5　★
川越市役所

川美発　第３３号
平成１２年４月１８日

川越市美術館建設委員会
会長　木　下　重　美　　様

川越市長　舟　橋　功　一

美術館建設地決定について（報告）

標記の件につきましては、平成１２年４月５日付けで貴委員会からいただいた答申（「川越市美術館建設について（中間答申）」）の内容を尊重し、下記のとおり決定することといたしましたのでご報告いたします。

記

１　美術館建設地について

博物館駐車場敷地

川美建委発第３号
平成13年５月22日

川越市長　舟　橋　功　一　　様

川越市美術館建設委員会
会　長　　木　下　重　美[redacted]

美術館建設について（第二次中間答申）

平成１０年１１月１８日付け川美発第２２１号で諮問のあったことについては、下記のとおりです。

記

諮問事項２「市民がいつでも利用でき、鑑賞、創作、発表を通じて積極的に美術に親しめる美術館となるための、収集・展示・普及等の施設計画について。」

この件については、当委員会の議を経て作成された設計図書をもって答申といたします。

川美建委発第４号
平成14年８月９日

川越市長　舟　橋　功　一　　様

川越市美術館建設委員会
会　長　　木　下　重　美[redacted]

美術館建設について（最終答申）

平成１０年１１月１８日付け川美発第２２１号で諮問のあったことについては、下記のとおりです。

記

諮問事項３　施設を生涯学習等に有効に活用するための活動の展望について。

その内容については、別紙のとおりです。

別　紙

1　館のテーマについて

「交流」

意味：過去、現在、未来にわたる芸術文化を中心として、世代間、地域間の交流を図る。

2　収集方針について

「交流」をテーマに、川越ゆかりの作家の作品のほか、芸術上、学術上著しく価値の高い美術作品で、本市文化の振興に資するものを計画的、系統的に収集し、展示の充実を図ること。

3　調査研究について

調査研究は美術館活動の根幹をなすものであり、市民に親しまれる美術館として、総合的な調査研究の充実に努めること。

4　教育普及事業等について

創作棟、市民ギャラリー、多目的ホール、図書・情報コーナー等を広く活用し、講演会、講座等の開催をはじめ、企画運営の充実を図り、教育普及事業に努めること。

5　美術館活動の連携について

市民に開かれたいきいきとした美術館として、川越ならではの情報を発信し、多様化する市民の美術活動のニーズに応えるため、市立博物館をはじめとする教育・文化施設等との幅広い連携が望ましい。

6　組織について

魅力ある美術館として円滑に機能するよう、継続的に充分な人的配慮が望まれる。あわせて美術館協議会、美術品等評価選定委員会の設置を検討されたい。